

第37回高知県地方港湾審議会 議事概要

令和5年1月30日(月) 13:30~14:30

於：高知会館3階 「飛鳥」

発言内容	発言者
<p>【意見】 ・湾口を狭くすることによる津波の遡上高への影響（現在より津波の高さが高くないという根拠）をデータで示して欲しい。L1津波は防げたとして、L2津波のときにマイナスになることを心配している。</p>	<p>委員</p>
<p>【回答】 ・定性的なことだけではなくて、定量的にしっかりと見える形で整理し、説明させていただく。 【2月10日】 ・三重防護の整備前・後の津波シミュレーション結果を提示・説明。</p>	<p>事務局</p>
<p>【意見】 ・津波防波堤の計画については、いろいろところで議論しながら、一定の決定機関も経て、ここに上がってきていると思うが、どのようなプロセスを経ているか教えて欲しい。</p>	<p>委員</p>
<p>【回答】 ・平成29年3月に改訂された土佐湾沿岸海岸保全基本計画の中で、津波防波堤も位置付け（計画）されている。 ・今回、津波防波堤の位置・断面等の基本設計が整ったことから、港湾計画に位置付けする変更を審議会に諮っているもの。</p>	<p>事務局</p>
<p>【意見】 ・津波防波堤の建設のスケジュールについて、今の計画で説明願いたい。</p>	<p>委員</p>
<p>【回答】 ・国の直轄事業により、平成30年度から具体的に検討を始めている。これまでに、基本設計や航行安全対策検討委員会を実施。 ・現在は地元調整を行っている状況。調整が整い次第、桂浜側から施工に着手して、その後種崎側、完了までには概ね4年程度を見込んでいる。</p>	<p>事務局</p>